

ホテル・ブライダル

学年	科目名
1	レストランバンケットサービス
1	ソムリエ&バーテンダー
1	コンシェルジュ
1	ホテル総論
1	ホテル英会話
1	TOEIC/英検対策Ⅰ
1	TOEIC/英検対策Ⅱ
1	就職活動講座
1	SPⅠ言語対策
1	SPⅠ非言語対策
1	コンピュータ
1	面接対策
1	ブライダル演習
1	ブライダルセールス
1	選択TOEIC
1	英語面接対策（4回）
2	フロントオフィス
2	ホテル英会話
2	第二外国語（韓国・中国・フランス）
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	Web広告戦略
2	ユニバーサルサービス
2	手話
2	フレッシュャーズ教育
2	観光産業概論
2	社会情勢研究
2	プレゼンテーション
2	着付け演習
2	メートル・ドテル
2	HRS実技セミナー

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	レストラン・バンケットサービス				クラス	E・E3
担当講師(フルネーム)	橋口 淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	料飲接遇の基礎を学び実習へ活かす 知的な部分から体型的な流れを理解する				授業形態	講義&演習
到達目標	ホテル料飲部門の組織的な役割と面白さを理解し業界理解度を高める					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	前期実習の振り返り レストラン部門の組織体系				
2回	C.G.S.	C.G.S.とは？ ロールプレーイング				
3回	サービスの種類	アメリカン、フレンチ、ロシアンサービス ロールプレーイング				
4回	日本料理の概要	日本料理食材と技法 ロールプレーイング				
5回	アジア料理の概要	アジア料理食材と技法とサービス方法 ロールプレーイング				
6回	特別食	宗教上の食事制限各種 ロールプレーイング				
7回	宴会とは①	宴会 vs Banquet. ロールプレーイング				
8回	宴会とは②	日本古来独特な婚礼サービス ロールプレーイング				
9回	プロトコール	プロトコールとは ロールプレーイング				
10回	タイプ別レストラン	メインダイニング、ファインダイニング、テーマレストラン… ロールプレーイング				
11回	朝食の基本	アメリカンブレックファーストを知る ロールプレーイング				
12回	実技試験練習	後期期末試験の課題発表 模範演技 練習				
13回	実技試験	期末実技練習 準備できた人より試験開始				
14回	実技試験	期末実技練習 準備できた人より試験開始				
15回	後期まとめ	授業の総まとめ 後期実習へ向けて				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科・国際マネジメント科		
科目名	ソムリエ＆バーテンダー				クラス	E・U	
担当講師(フルネーム)	水田 勇太				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。 現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。				授業形態	講義＆演習	
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得						
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	シラバス説明		前期復習、後期講義概要				
2回	バー・ラウンジについて		バー・ラウンジ概要				
3回	酒の基礎知識		醸造酒、蒸留酒、混成酒について				
4回	ウイスキーについて		ウイスキー歴史、生産国、原料、生産方法について				
5回	ジン、ウォッカについて		スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について				
6回	テキーラ、ラムについて		スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について				
7回	ブランデーについて		ブランデーについて、生産国、原料、生産方法について				
8回	リキュールについて		リキュールについて、生産国、原料、生産方法について				
9回	日本酒と焼酎について		日本の酒類について				
10回	カクテルの基礎		カクテル概要				
11回	カクテル基礎知識		器具、カクテル作成について				
12回	カクテル実技		カクテル作成				
13回	カクテル実技		カクテルの知識と作成				
14回	カクテル実技		オリジナルカクテル作成				
15回	カクテル実技		オリジナルカクテルプレゼン・期末試験				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	コンシェルジュ				クラス	E・E3
担当講師(フルネーム)	小西 翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	宿泊部門(クローク係、客室係、コンシェルジュ)業務の習得。				授業形態	講義&演習
到達目標	宿泊部門(ベルマン、客室係、コンシェルジュ)と関連部署についての業務内容の理解と技術の習得。					
使用テキスト	ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション クローク係の業務	成績評価と授業スケジュールの説明 前期期末試験の解説 クローク係とは				
2回	クローク係の業務	クロークルームの整理と準備 クローク業務の作業手順				
3回	クローク係の業務	クローク業務の作業手順 クローク業務(実践)				
4回	客室部門の業務	客室部門の業務の概要 客室についての基礎知識				
5回	客室部門の業務	客室についての基礎知識 客室内の設備・備品				
6回	客室部門の業務	客室整備の手順 ベッドルームの清掃(OUT清掃)				
7回	客室部門の業務	ベッドルームの清掃(OUT清掃) ベッドルームの清掃(STAY清掃) ルームインスペクション				
8回	客室部門の業務	ランドリーサービス ターンダウンサービス デリバリーサービス その他のサービス				
9回	客室部門の業務	客室清掃(実践) ベッドメイキング				
10回	客室部門の業務	ベッドメイキングの練習				
11回	コンシェルジュの業務	コンシェルジュとは				
12回	コンシェルジュの業務	コンシェルジュの業務				
13回	コンシェルジュの業務	【ケーススタディ】 あなたがもしもコンシェルジュだったら…				
14回	後期授業のまとめ	後期授業の復習を行う				
15回	期末試験	後期期末試験を実施				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル総論				クラス	E・E3
担当講師(フルネーム)	小西 翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	部署を問わず、ホテルで即戦力として働くために必要な基礎知識を身に付ける。				授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験初級の資格を取得する。					
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級 問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション テキスト解説	資格試験について説明 前期の授業の進め方、評価方法の説明 接客分野の解答、解説				
2回	テキスト解説	接客分野の解答、解説				
3回	テキスト解説	接客分野の解答、解説				
4回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説				
5回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説				
6回	テキスト解説	料飲分野の解答、解説				
7回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説				
8回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説				
9回	テキスト解説	宿泊分野の解答、解説				
10回	テキスト解説	語学分野の解答、解説				
11回	テキスト解説	語学分野の解答、解説				
12回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説				
13回	テキスト解説	その他のホテル関連分野の解答、解説				
14回	ホテル実務技能認定試験	ホテル実務技能認定試験を実施				
15回	振り返り	前週の試験をもとに振り返りを行なう				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科,国際ホテルマネジメント科		
科目名	ホテル英会話				クラス	E・U・V	
担当講師(フルネーム)	加藤亜希、日高郁子、中牟田登喜枝				実務経験		
授業概要(内容)	接客英語の基本表現を学ぶ ホテル各部門の業務内容に沿った英語表現を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標	ホテルでの基本的な業務対応を英語でできるようになる						
使用テキスト	ホテル英会話I 基礎編						
成績評価方法	・筆記試験50% 会話テスト・提出物・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	前期復習		丁寧な接客英語の復習 夏休み、実習感想を英語で伝えよう				
2回	Lesson 6 bellperson		荷物の英語表現 Dialogue1 Dialogue2				
3回	Lesson 6 bellperson		客室内備品、家具の英語表現 Dialogue3 Dialogue4				
4回	Lesson 6 bellperson		Dialogue5 Dialogue6 * ベルパーソンのロールプレーでお客様をお迎えしよう				
5回	Lesson 7 cloak room		Lesson 6 復習テスト Dialogue1 Dialogue2				
6回	Lesson 7 cloak room		Dialogue3 * クロークルームでのロールプレー				
7回	Lesson 8 front desk staff		Lesson 7 復習テスト Dialogue1 予約取りに必要な日時の英語表現				
8回	Lesson 8 front desk staff		Dialogue2 Dialogue3				
9回	Lesson 8 front desk staff		Dialogue4 Dialogue5 * ロールプレーで宿泊予約を取ってみよう				
10回	Lesson 9 housekeeper		Lesson 8復習テスト 衣類の英語表現 Dialogue1				
11回	Lesson 9 housekeeper		Dialogue2 Dialogue3 * ハウスキーパーのロールプレー				
12回	Lesson 10 restaurant staff		Lesson 9復習テスト メニューの英語表現 Dialogue1				
13回	Lesson 10 restaurant staff		Dialogue2 Dialogue3				
14回	Lesson 10 restaurant staff		Dialogue4 * レストランでのオーダー取りを英語でやってみよう				
15回	後期まとめ		Lesson 10 復習テスト 後期復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・ 鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光科		
科目名	TOEIC I				クラス	EQNDY①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する						
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集11						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	Part1	授業の進め方、評価方法の説明 写真をチェックする 人物、風景と物、乗り物についての表現					
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文 付加疑問文 平叙文					
3回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む					
4回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る 会議の抜粋やスピーチを聞く					
5回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 名詞・動詞・形容詞・副詞					
6回	Part5(4)	関係代名詞 先行詞が人か物かをチェックする 主格・目的格・所有格の判別					
7回	Part5(6)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する					
8回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む 広告・Eメールを読む					
9回	模試	リスニング模試 Part1/Part2/Part3/Part4 答え合わせと解説					
10回	模試解説	リーディング 文法解説 読解解説					
11回	Part7(2)	ウェブページ、用紙を読む 文脈を意識して読む 練習問題					
12回	Part7(4)	Eメール、記事を読む 頻出語彙 練習問題					
13回	Part7(5)	ダブルパッセージ 2文書参照問題の解き方 記事とEメール					
14回	期末試験対策	語彙問題 文法問題 読解問題					
15回	TOEIC S&W	TOEIC S&Wテストの案内 スピーキング ライティング					

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・ 鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光科		
科目名	TOEIC II				クラス	EQNDY①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する						
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集11						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞きとる キーワードをとらえる					
2回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題					
3回	Part3(1)	Part3の攻略 音のひっかけに注意する 練習問題					
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む					
5回	Part4(2)	場所を問う問題 職業を問う問題 次の行動を問う問題					
6回	Part5(2)	品詞問題 発展編 文脈から適切な意味の語を選ぶ 複合名詞					
7回	Part5(3)	動詞の形と役割 時制 態					
8回	Part5(5)	代名詞・限定詞 適切な格を判断する 可算名詞・不可算名詞					
9回	Part6	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く					
10回	模試	リーディング Part5/Part6/Part7 答え合わせ					
11回	IPテスト対策	リスニング対策 リーディング対策 頻出語彙					
12回	Part7(3)	テキストメッセージ 意図問題の解き方 パンフレット					
13回	Part7(6)	トリプルパッセージ 議題・お知らせ・テキストメッセージ 報告書・Eメール・広告					
14回	期末試験(予定)	Part5/Part6/Part7 単語プリント					
15回	まとめと復習	期末試験のフィードバック 文法・語彙問題 読解問題					

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル、エアライン、鉄道、 国際ビジネス、夜間総合観光科	
科目名	英検対策 I & II				クラス	EQNDY
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、脇谷奈々、猪口明日香、加藤亜希				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる				授業形態	講義
到達目標	英検2025年度に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2025年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	過去問題①	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	過去問題①	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	過去問題①	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	過去問題①	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	本試験	本試験の自己採点及び解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
8回	過去問題②	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
9回	過去問題②	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	過去問題②	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	過去問題②	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	過去問題③	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	過去問題③	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	期末試験対策	長文読解 英作文問題 リスニング問題				
15回	期末試験	前期授業総括 期末試験解説 前期総復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	就職活動講座				クラス	A
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・就職活動のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。				授業形態	講義
到達目標	・志望する企業の絞り込みを行い、内定へと導く。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・課題プリント70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション・自己PR		・後期授業内容の説明 ・実習体験をもとにした自己PRの作成			
2回	自己PR作成		・実習体験をもとにした自己PRの作成			
3回	自由表現		・多様性のある自己PRを作ることでの様な質問でもPRできるようにする			
4回	エントリーシートの書き方		・各ホテルのエントリーシートを書いてみる。			
5回	志望動機の作り方		・モデルケースの志望動機を作ってみる。			
6回	志望動機の作り方		・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。			
7回	企業研究		・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。			
8回	企業研究		・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。			
9回	企業研究		・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成			
10回	志望企業の研究		・受験する企業を絞り込み、その企業に合わせた対策を考えることで自信につなげていく。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成			
11回	面接対策		・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント			
12回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
13回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
14回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
15回	完成品のチェック		・後期提出物のチェック			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテルブライダル科・国際ビジネス科	
科目名	SPI言語対策				クラス	E、E3、D
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎知識の向上を目指す					
使用テキスト	一般常識&時事/一問一答 (高橋書店)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	SPIを知る	授業方針説明、SPI検査の内容を確認 SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) * 夏休みの課題(四字熟語)提出				
2回	日本の特産品	日本地理 ①都道府県名、県庁所在地の確認 SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語)				
3回	四字熟語	四字熟語テスト① 夏休みの課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト 日本地理 ②日本各地の産物を学ぶ、産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味①語句の意味が正しいもの				
4回	世界の気候	四字熟語テスト② 世界地理 世界各地の気候、産物と産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味②意味に適合する語句				
5回	日本史の中の人物	四字熟語テスト③ 日本史 日本史上の人物に焦点をあて、歴史をみる(誰が何をしたか) SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの)				
6回	世界史の中の人物	四字熟語テスト④ 世界史 世界史上の出来事を追い、人物と「何」が起きたのか？を見る SPI言語 文章問題①				
7回	文化史	四字熟語テスト⑤ 文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる SPI言語 文章問題②				
8回	名言・名句	四字熟語テスト⑥ 思想史 思想家の名言・名句と著書 SPI言語 原料(加工物とその原料)				
9回	国際連合の役割	国際連合と諸機関 SPI言語 包含・用途・機能				
10回	地域協定	地域協定と経済連携協定 SPI言語 文章問題③				
11回	G7とG20	G7とG20 国際協調を考える SPI言語 行為の関係				
12回	日本の政治	中央政治と地方政治 SPI言語 文章問題④				
13回	経済	経済と経済用語 SPI言語 ことわざ・慣用句				
14回	働く環境を考える	労働・社会保障 労働者は守られているか？ SPI言語 文章問題⑤				
15回	後期末試験	期末試験30分 残りの時間は「時事問題を考える」ニュースサイトの活用方法				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル・国際ビジネス科	
科目名	SPI非言語				クラス	E.E3、D
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫				実務経験	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	四則計算		SPI非言語の基本となる計算問題(分数、小数を使った1次方程式など)を解く。			
2回	割合の問題		割合の問題を解く。			
3回	金銭の問題1		定価・原価・利益のしくみを正しく理解し、損益算の基本問題を解く。			
4回	金銭の問題2		損益算の標準問題を解く。			
5回	ハジキ問題1		速度算の基本計算(単位を合わせて式を立て時間や距離を求める)を理解し、問題を解く。			
6回	ハジキ問題2		速度算の標準問題(旅人算の同方向、反対方向など)を解く。			
7回	食塩水の問題1		食塩水の中の塩の量を求める基本計算を理解して問題を解く。			
8回	食塩水の問題2		濃度算の応用問題(異なる濃度の食塩水を混ぜる)を解く。			
9回	順列の問題1		順列Pの計算を理解し、基本問題を解く。			
10回	順列の問題2		順列の応用問題(並べ替え、色の塗り方、円順列など)を解く。			
11回	組み合わせの問題1		組み合わせの基本問題を解く			
12回	組み合わせの問題2		組み合わせの応用問題を解く			
13回	推論の問題		推論(順位を考える問題など)を解く。			
14回	装置と回路		関係性や法則を正しくとらえ問題を解く			
15回	期末試験		後期のまとめ、期末試験			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル／国際ビジネス	
科目名	コンピュータ				クラス	E,E3,D
担当講師(フルネーム)	財津克宜				実務経験	有(IT業界勤務歴)
授業概要(内容)	パソコンの基本的構成やよく使うソフトウェアを知る メールやクラウドの使い方を習得しIT全般のスキルアップをはかる				授業形態	講義&演習
到達目標	パソコンの構成を理解しメールやクラウドなどのユーティリティを正しく理解し活用できるようにする					
使用テキスト	オンラインマニュアル					
成績評価方法	課題／小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	仮想デスクトップの使用	マイクロソフトアカウント 仮想デスクトップ(Microsoft Azure)接続 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
2回	仮想デスクトップの使用	仮想デスクトップ(Microsoft Azure)の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
3回	仮想デスクトップの使用 Microsoft Office 365	OneDriveの活用 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
4回	仮想デスクトップの使用 Microsoft Office 365	SharePointの活用 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
5回	仮想デスクトップの使用 Microsoft Office 365	Teamsの活用 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
6回	AI活用	言語生成AI ChatGPT ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
7回	AI活用	言語生成AI Perplexity ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
8回	AI活用	画像生成AIを活用した画像制作 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
9回	動画生成AI活用	動画生成AIを活用した動画制作 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
10回	動画生成AI活用	動画生成AIを活用した動画制作 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Google Office演習を行う				
11回	Webコンテンツ制作	Webの仕組みや公開までの流れ ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
12回	Webコンテンツ制作	いろいろなWebコンテンツ ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
13回	Webコンテンツ制作	Webコンテンツ制作実践 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
14回	Webコンテンツ制作	Webコンテンツ制作実践 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Microsoft Office、Googleツール演習を行う				
15回	Webコンテンツ制作 ／期末試験	Webコンテンツ制作実践 ※期末試験				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテルブライダル科	
科目名	面接対策				クラス	E
担当講師(フルネーム)	田中友加利				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を実施				授業形態	講義
到達目標	深掘にも対応できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	就職ノート、専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		業界求人動向 1年次前期の面接対策の振り返り 企業説明会参加時の心構え			
2回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
3回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
4回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
5回	模擬面接		グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック			
6回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
7回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
8回	模擬面接		グループ面接(応用) フィードバック			
9回	模擬面接		WEB面接 志望動機、自己PR、ガクチカ確認			
10回	模擬面接		WEB面接 志望動機、自己PR、ガクチカ確認			
11回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
12回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
13回	後期試験		グループ面接 フィードバック			
14回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			
15回	模擬面接		グループ面接 フィードバック			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテルブライダル科		
科目名	ブライダル演習				クラス	E・E3	
担当講師(フルネーム)	田中 君枝				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	業界を見学し、現状を学ぶ				授業形態	講義	
	各グループで、新郎新婦に寄り添った人前式の内容を考える						
到達目標	100組のカップルがいれば100通りの結婚式の挙げ方がある。新郎新婦にベストな形に寄り添い、良い結婚式を挙げてもらう						
使用テキスト	なし						
成績評価方法	平常点30% グループ発表と、ワークを通して学んだことをレポートにて提出 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	ブライダル基礎知識について		前期で学習した基礎知識についての振り返りと復習				
2回	結婚式場の見学について(1)		・班分け (※班長決めなど) ・会場について班で勉強				
3回	結婚式場の見学について(2)		・班で式場について発表 ・情報まとめ ・資料作成				
4回	結婚式場の見学について(3)		・班で式場について発表 ・情報まとめ ・各班で質問を考え発表 まとめる				
5回	式場見学		・現地集合				
6回	式場見学振り返り		・見学で得た情報や感想を話し合う ・各班から発表				
7回	人前式テーマについて		テーマについて班で話し合う 今後の計画をたてる				
8回	人前式を考える(1)		計画に沿ってプランを考える				
9回	人前式を考える(2)		計画に沿ってプランを考える				
10回	中間発表会		それぞれの班での進行状況を発表				
11回	人前式を考える(3)		計画に沿ってプランを考える				
12回	人前式を考える(4)		プランを仕上げる(最終日)				
13回	人前式を発表(1)		各班の発表				
14回	人前式を発表(2)		各班発表				
15回	レポート作成		今回のワークで学んだこと、感想について				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダルセールス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	西村 隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	プランナーの基礎知識を学ぶ ウェディングのアイテム詳細・施行の詳細を学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	プランナーの仕事を理解し、幅広い知識を身につける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	CHAPTER4-6	ウェディング当日の進行				
2回	CHAPTER4-6	プランナーカウンセリング知識 プランナーカウンセリングロープレ				
3回	CHAPTER4-6	プランナーカウンセリングロープレ				
4回	CHAPTER4-6	プランナーカウンセリングロープレ 提案の企画				
5回	CHAPTER4-6	提案の企画 進行表の作成				
6回	CHAPTER4-6	発表				
7回	CHAPTER4-6	クレーム対応 クレーム対応ロープレ				
8回	その他部門とパートナー	プランナー以外の部門の説明 パートナー企業との向き合い方 その他事務作業の基本(必要作業やコミュニケーションマナー)				
9回	ブライダル業界のトレンド	フォトウェディング フリープランナーウェディング トレンド				
10回	集客	集客の振り返り				
11回	成約	成約の振り返り				
12回	プランナー	プランナーの振り返り				
13回	まとめ	後期のおさらい 期末試験の課題を発表				
14回	実技試験	実技試験 制限時間内にプランナーロールプレイングを行う				
15回	筆記試験	筆記試験 質疑応答				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル、鉄道、エアライン、IT	
科目名	TOEIC(選択)				クラス	ENQH
担当講師(フルネーム)	日高 郁子				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / プリントなど					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方について TOEICとは? TOEICミニテスト				
2回	品詞問題&Part1	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5				
3回	時制&Part2	時制の総復習 Part2解き方 Part5				
4回	自動詞&他動詞Part3	自動詞・他動詞の見分け方 自動詞、他動詞を見分けて問題を解く Part3 Part5				
5回	不定詞&Part3	不定詞 Part3 Part5				
6回	動名詞&Part4	動名詞 Part4 Part5				
7回	分詞の形容詞的用法 Part4	分詞の形容詞的用法 Part4 Part5				
8回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語練習				
9回	名詞・冠詞 part6	名詞・冠詞 Part6 Part5				
10回	接続詞 Part1&2	接続詞 Part1&2 Part5				
11回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5				
12回	模擬テスト (リーディング)	模擬テスト 解答				
13回	仮定法	仮定法 Part6 Part5				
14回	期末テスト	期末テスト				
15回	文法総復習	後期復習 期末返却				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	英語面接対策				クラス	E
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・発表2回 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	面接を成功させるためのテクニック		挨拶の仕方、丁寧な言葉づかい、相づち等、状況に応じた意思表示の仕方を英語でできるようになる			
2回	趣味や余暇で「自分らしさ」をうまくだそう		趣味や余暇の過ごし方について、面接に効果的なモデルパターンを知る 自分の長所や短所 学校生活、成績、英語力			
3回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らまそう		ホテルの仕事内容や、出来事を英語で説明できるようになる 実習体験			
4回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らまそう		志望動機 将来の夢			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル,国際ホテルマネジメント		
科目名	フロントオフィス				クラス	A・T	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	フロント・オフィス業務についての基本知識を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標	予約からチェックアウトまでの流れを理解し接客スキルを磨く						
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅰフロントオフィス編						
成績評価方法	・期末試験50% 提出物・実技・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	前期復習		前期復習				
2回	レセプション業務		チェックアウト業務 ナイト業務				
3回	レセプション業務		デイリールームレポート				
4回	レセプション業務		デイリールームレポート				
5回	フロントキャッシャー業務		ホテルビル サービス料と税金 宿泊料金計算				
6回	フロントキャッシャー業務		宿泊料金計算 外貨両替				
7回	フロントキャッシャー業務		清算手順と方法				
8回	フロントキャッシャー業務		清算手順と方法				
9回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技				
10回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技				
11回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技(評価)				
12回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技(評価)				
13回	リスク管理		防災事故管理、防犯管理				
14回	今後のホテルビジネス		ホテルビジネスのトレンド、宿泊ビジネスの今後				
15回	まとめ		ホテル用語復習				

対象学年	2・3年共通	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル	
科目名	ホテル英会話Ⅱ				クラス	A・A3
担当講師(フルネーム)	日高郁子・中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	接客英語の基本表現を学ぶ ホテル各部門の業務内容に沿った英語表現を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で対応できるようになる					
使用テキスト	ホテル英会話Ⅱ 応用編					
成績評価方法	・期末試験50% 会話テスト・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Lesson 5 check out	前期復習 チェックアウトの手順と英語表現 * チェックアウト会話テスト				
2回	Lesson 6 Telephone& paging	Lesson 5テスト D1&D2				
3回	Lesson 6 Telephone& paging	D3～5 * 電話応答会話テスト				
4回	Lesson 7 Restaunt	Lesson6 テスト D1 レストラン用語				
5回	Lesson 7 Restaunt	D2				
6回	Lesson 7 Restaunt	D3 & D4				
7回	Lesson 7 Restaunt	レストランでの接客を英語でロールプレー * レストランでの会話テスト				
8回	Lesson 8 Bar and cocktail ounge	Lesson 7 テスト D1 & D2				
9回	Lesson 8 Bar and cocktail ounge	D3				
10回	Lesson 9 complaints	Lesson 8 テスト D1～D3				
11回	Lesson 9 complaints	D4～6				
12回	Lesson 9 complaints	D7～9 * 苦情対応会話テスト				
13回	Lesson 10 Emergencies	Lesson 9 テスト D1 & D2 身体、医療関係用語				
14回	Lesson 10 Emergencies	D3 & D4				
15回	後期まとめ	Lesson10 テスト 後期内容復習				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン・ホテル・ブライダル・鉄道・夜間総合観光科		
科目名	韓国語				クラス	N・Q・A・A3・選択Z	
担当講師(フルネーム)	権京愛				実務経験	無	
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。				授業形態	講義＆演習	
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。						
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」(朝日出版)						
成績評価方法	・期末テスト50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	前期の復習	既習のハングル文字の母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度お復しする。 発音と読み書きの復習をする。 会話の練習をする。					
2回	漢数字と助数詞	何年、何月、何日、何分、何個など漢数字とともに使われる助数詞を覚える。 発音と読み書きの復習をする。 助数詞を使って会話の練習をする。					
3回	位置表現(場所を尋ねる)	絵を見ながら場所を尋ねる表現を学ぶ。 位置を表す名詞を覚え、会話練習をする。 クラスメートと待ち合わせの場所を決めるなど会話の練習をする。					
4回	へヨ体の作り方Ⅰ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ① 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
5回	助詞	助詞をまとめて覚える。 例文を作りながら練習して覚える。 会話の練習をする。					
6回	復習と練習問題	問題を解きながら復習をする。 会話の練習をする。					
7回	へヨ体の作り方Ⅱ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ② 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
8回	指示詞	指示詞を覚え、物を尋ねる表現を学ぶ。 「これはなんですか」など指示詞を使って会話練習をする。 教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。					
9回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 会話の練習をする。					
10回	へヨ体の作り方Ⅲ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ③ 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
11回	固有数詞	固有数詞を覚える。 固有数詞とともに使われる助数詞を学ぶ。 会話練習をする。					
12回	時を表す言葉	時を尋ねる表現を学ぶ。 「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」など会話練習をする。					
13回	復習	復習問題を解く。 自己紹介のフレーズを覚え、韓国語で自己紹介の練習をする。					
14回	期末テスト	復習 期末テスト					
15回	まとめ	期末テストのフィードバック 文化紹介					

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン、ホテル・ブライダル、鉄道科	
科目名	中国語				クラス	Q・A・A3・M
担当講師(フルネーム)	青山祐子				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について				授業形態	講義
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする					
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試50%+小テスト30%+平常点20%				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期の復習	前期習った内容のおさらい				
2回	第8課 バス停で	24. 連動文 25. 前置詞”在” 26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)				
3回	トレーニング8	28. 助動詞 ”会”・”能”・”可以”				
4回	復 習	今まで勉強した内容についての小テスト				
5回	第9課 放課後に	29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文				
6回	トレーニング9	31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”				
7回	第10課 卓球の中継を見ながら	33. 比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢” 小テスト				
8回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ	トレーニング10 35. 進行を表わす”在”				
9回	トレーニング11	36. 方向補語 37. 選択疑問文				
10回	中国語の歌を習おう！	中国語の歌をマスターしよう！				
11回	第12課 カフェテラスで	38. ”是～的”の文 39. 結果補語				
12回	トレーニング12	40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語 小テスト				
13回	期末テスト対策	復習プリント				
14回	期末テスト自己紹介	今まで習った表現を使って自己紹介しよう。				
15回	総復習	これまで習得した表現を使って、業務上で使う会話を実践しよう。				

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	ホテル・ライタル科/3年コース	
科目名	フランス語				クラス	A・A3
担当講師(フルネーム)	アルティリ・ルカ ジョアン				実務経験	無
授業概要(内容)	フランス語での挨拶から、簡単な自己紹介・フランス語での旅行のために、「何・どこ・いつ」などの質問と答え方まで。				授業形態	講義
到達目標	主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。					
使用テキスト	フランス語をひとつひとつわかりやすく。					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Bonjour!	挨拶とフランス語の発音 アルファベット				
2回	自己紹介	自己紹介 etre動詞 数字とアルファベット				
3回	自己紹介(2)	etre動詞の使い方 フランス語の読み方 数字				
4回	どんな人ですか	etre動詞の使い方 フランス語の読み方				
5回	何をしている	ER動詞 特別の読み方				
6回	何をしている	ER動詞(2) 数字(11-20)				
7回	何を持っている	AVOIR動詞 年齢				
8回	復習テスト	復習テスト				
9回	男性か女性	男性名詞と女性名詞 家族のことば AVOIR動詞とETRE動詞の使い方				
10回	単数から複数へ	単語の複数形 AVOIR動詞とETRE動詞の使い方(複数形)				
11回	何が好き?	AIMER動詞 定冠詞の使い方 フランス語の「この、その、あの」				
12回	復習テスト	復習テスト				
13回	食べ物	数えられるものと数えられないもの IL Y Aの使い方				
14回	試験					
15回	フランス語で遊ぼう	フランス語のゲーム				

対象学年	2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	A・A3クラス
担当講師(フルネーム)	久保田 博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義&演習
到達目標	学んだ英語を日常生活やホテル業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント ※ヘッドセット持参のこと					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価70% 平常点30%(出席点+スキル別トレーニング) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	日常英会話 基礎編	Lesson16 依頼				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson17 提案①				
3回	日常英会話 基礎編	Lesson18 提案②				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson19 スモールトーク①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson20 スモールトーク②				
6回	日常英会話 基礎編	Lesson21 空港で迎える①				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson22 空港で迎える②				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson23 観光の計画①				
9回	日常英会話 基礎編	Lesson24 観光の計画②				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson25 日本を案内する①				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson26 日本を案内する②				
12回	日常英会話 基礎編	Lesson27 日本を案内する③				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson28 日本を案内する④				
14回	日常英会話 基礎編	Lesson29 家を訪ねる①				
15回	日常英会話 基礎編	Lesson30 家を訪ねる②				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	Web広告戦略				クラス	A
担当講師(フルネーム)	乙 咩 清美				実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	デザインの基礎を知り、様々なコンテンツ作りを目指す。 Word・Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。				授業形態	講義&演習
到達目標	今まで学習したOffice基礎やWeb・クラウドなどを再確認しながら、集客力のあるかっこいいコンテンツができるようになる。					
使用テキスト	配布資料やスライドなどを使用					
成績評価方法	・期末試験、提出課題70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Canvaで始めるデザイン	Canvaでデザイン Canvaとは、どんなことができるのかを知る				
2回	デザイン基礎とチラシ作成	前期応用で、Caféの新メニューキャンペーンの企画書とチラシを作成する				
3回	デザイン基礎とチラシ作成	前期応用で、Caféの新メニューキャンペーンの企画書とチラシを作成する				
4回	デザイン基礎とチラシ作成	前期応用で、店舗の新展開オープンのチラシを作成する				
5回	デザイン基礎とチラシ作成	前期応用で、店舗の新展開オープンのチラシを作成する				
6回	Office活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
7回	Office活用	名簿の作成				
8回	Office活用	招待状の作成 Excel名簿の差し込み印刷				
9回	Webページ作成	Webページ作成① Webページ作成の基礎技術 HTMLとCSSについて				
10回	Webページ作成	Webページ作成② Webページ作成の基礎技術 HTMLとCSSについて				
11回	Webページ作成	Webページ作成③ Webページ作成の基礎技術 HTMLとCSSについて				
12回	Office活用	報告書フォームを作る、デジタル印作成				
13回	Office活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
14回	Office活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
15回	後期期末試験					

対象学年	2・3年共通	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ユニバーサルサービス				クラス	A・A3
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	障がい者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介護知識を身につける				授業形態	講義
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルサービスについて学ぶ 合理的配慮について学ぶ				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	内部障害のある方 肢体障害者へのサービス ①	内部障害についての基本知識を習得する 自走体験をもとに注意すべき点に気づく				
11回	妊娠中の方・小さなお子さん 連れの方 肢体障害者へのサービス ②	妊娠中の方、小さなお子様連れの方についての基本知識を習得する 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える 自走体験をもとに注意すべき点に気づく				
12回	肢体障害者へのサービス③	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ				
13回	肢体障害者へのサービス ④ まとめ	段差や階段での案内方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
14回	期末試験	試験				
15回	まとめ	期末試験返却				

対象学年	2・3年共通	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名	手話				クラス	A・A3	
担当講師(フルネーム)	江口由香				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害について理解を深め、聴覚障害者のお客様とコミュニケーションの在り方を学ぶ				授業形態	講義&演習	
到達目標	手話での日常会話と接客手話ができる						
使用テキスト	手話テキスト配布						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	聴覚障害者と手話		聴こえないとは 聴覚障害をとりまく環境と状況				
2回	伝え合ってみましょう		ものの形や身振り表情でコミュニケーション				
3回	伝え合ってみましょう		自己紹介 名前の表し方・指文字				
4回	伝え合ってみましょう		人物の表し方・家族の紹介				
5回	数字を使って話しましょう		数の表し方 数字に関する接客手話				
6回	手話で表現してみましょう		自分のことを手話で伝える				
7回	仕事について話しましょう		職業の手話表現				
8回	住所を紹介しましょう		地名の手話や交通手段の表現				
9回	自己紹介まとめ		これまで学んだ手話をつかって自分のことをつたえる				
10回	一日のことを話しましょう		時間の経過を表す				
11回	過去・現在・未来		時間の経過を表す 行事				
12回	接客手話		聴覚障害のあるお客様にたいしてのサービスの在り方				
13回	きこえないとは		聴覚に障害がある人、デフファミリーの生活				
14回	実技テスト		学んだ手話で実技テスト				
15回	まとめ		手話学習まとめ				

対象学年	2・3年共通	学期	後期のみ	学科	ホテル・プライダル科、国際ビジネス科、ITビジネス科		
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	ACG	
担当講師(フルネーム)	小西 翼／猪口 明日香				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(考え方、動き方含む)を事前に身につける				授業形態	講義	
到達目標	社会人としての基礎知識を身に付けるとともに、困難を楽しく生き抜く力を養う						
使用テキスト	適宜プリント						
成績評価方法	授業態度・積極性や出席率により評価する。 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	2 期末試験なし						
	テーマ	授業内容					
1回	イントロデュース	成績評価と授業スケジュールの説明 交流会準備					
2回	イントロデュース②	学科合同交流会					
3回	新入社員	新入社員が抱えやすい悩みと、対策・解決方法を考える					
4回	「働く」	なんのために働くのか 社会・企業の仕組み 役職について					
5回	ルール	社会のルール 企業のルール「就業規則」					
6回	ストレス	ストレスの仕組み 各々のストレス解消法について					
7回	アンガーマネジメント	「怒り」の種類について アンガーマネジメントとは 怒りのコントロール					
8回	報告 連絡 相談	報告・連絡・相談の重要性について					
9回	効率 生産性	「できる社員」と「できない社員」の違いとは					
10回	あなたの知らない世界①	他科の授業を受けてみよう①					
11回	あなたの知らない世界②	他科の授業を受けてみよう②					
12回	マネーセミナー①	保険について知ろう ライフイベントやリスクを知ろう					
13回	マネーセミナー②	年金について知ろう ライフイベントやリスクを知ろう					
14回	生活習慣について	企業出前授業					
15回	まとめ	この学校で学んだこと これからずっと忘れないでいてほしいこと					

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	観光産業概論				クラス	A
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	旅行会社から見たホテル。旅行会社との繋がりから観光業界を知る。 観光素材である移動手段(鉄道・航空)・国内・海外の観光地理を学ぶ。				授業形態	講義&演習
到達目標	観光についての知識を習得する。					
使用テキスト	講師作成プリント・GoogleClassroom(Forms)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(授業態度・出席率・小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の進め方／・評価方法 ・観光とは ・旅行会社の仕組み(企画・手配・収入・添乗)・業界用語 ・鉄道(JR線・新幹線と特急列車) ・航空(国内航空会社) ・九州(福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ 5回目の続き ・北海道・沖縄県 ・北海道・沖縄の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ 7回目の続き 東京都と周辺地域 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・文化・土産等を学ぶ 大阪府・京都府と周辺地域 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・文化・土産等を学ぶ 韓国・東南アジアの国々(タイ・マレーシア・シンガポール) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・文化・料理・土産等を学ぶ 英国 ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・文化・料理・土産等を学ぶ フランス ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・文化・料理・土産等を学ぶ ・授業の振り返り、まとめ ・確認テスト実施				
2回	旅行会社の業務					
3回	国内の交通【1】					
4回	国内の交通【2】					
5回	国内観光地理【1】					
6回	国内観光地理【2】					
7回	国内観光地理【3】					
8回	国内観光地理【4】					
9回	国内観光地理【5】					
10回	国内観光地理【6】					
11回	海外観光地理【1】					
12回	海外観光地理【2】					
13回	海外観光地理【3】					
14回	まとめ					
15回	確認テスト(期末試験)					

・講師作成プリントは講義時に配布します。
マーカーを用意してください。
 ・**小テスト**(数回実施)は
Google Formsを使用し、
スマートフォンで解いてもらいます。

対象学年	2・3年共通	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	社会情勢研究				クラス	A・A3
担当講師(フルネーム)	前田 恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	新聞等を用いて話題性の高い時事ニュースを読み解く				授業形態	講義
到達目標	現代社会の出来事を多角的に理解・判断し、課題を解決する能力の基礎を養う					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験60% 発表評価・平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ニュースの発信源	・授業の進め方、評価方法について理解する ・新聞を読む意義を理解する・授業の進め方、評価方法について理解する ・日本および主要国の新聞社、通信社を知る				
2回	新聞の構成	・新聞の構成を知る ・新聞から必要な情報を探し出せるようになる				
3回	時事を学ぶ①	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
4回	新聞研究①	・記事をジャンル分けできるようになる ・記事の要旨を「5W1H」を意識してまとめられるようになる				
5回	時事を学ぶ②	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
6回	新聞研究②	・難解な語彙を調べながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨とともに、自分の意見も述べられるようになる				
7回	時事を学ぶ③	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
8回	新聞研究③	・記事の背景を理解しながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨を自分の意見とともに発表できるようになる				
9回	時事を学ぶ④	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
10回	新聞研究④	・興味の幅を広げて、記事を読むことができる ・発表内容を聞き、要旨を理解することができる				
11回	時事を学ぶ⑤	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
12回	時事研究	・与えられたテーマについてグループで発表内容をまとめる				
13回	研究発表①	・研究内容をグループごとに発表する				
14回	研究発表②	・研究内容をグループごとに発表する				
15回	期末試験	・学習した内容について期末試験を実施し、知識の定着をはかる				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科(3年コースをのぞく)		
科目名	プレゼンテーション				クラス	A	
担当講師(フルネーム)	池田 香織				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	プレゼンテーションの基本はコミュニケーションであることを意識して、気負わず楽しく取り組む。				授業形態	講義	
到達目標	自分の意見を自分の言葉で表現できるようになる。						
使用テキスト	なし						
成績評価方法	平常点100%(レポート等含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	2 期末試験なし						
	テーマ		授業内容				
1回	プレゼンテーションとは		自己紹介 プレゼンテーションとは				
2回	自己紹介		自分をプレゼンテーションする				
3回	自己紹介		発表				
4回	あなたのおすすめ		あなたのおすすめを紹介する				
5回	あなたのおすすめ		あなたのおすすめを紹介する				
6回	あなたのおすすめ		あなたのおすすめを紹介する				
7回	あなたのおすすめ		発表				
8回	あなたのおすすめ		発表				
9回	ディベート		1つのテーマについて論じる				
10回	ディベート		ディベートを実践してみよう				
11回	グループ討議		グループを作り、プレゼンテーションをする				
12回	グループ討議		グループを作り、プレゼンテーションをする				
13回	スピーチ		3分間でスピーチを行う				
14回	スピーチ		発表				
15回	スピーチ		発表				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	着付け演習				クラス	A・A3選択
担当講師(フルネーム)	青山 祐子				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	着物のたたみ方や小物の名称などを覚える 着付けの練習				授業形態	実技
到達目標	自装と他装で名古屋帯が結べるようになる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	出席率100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	着物	座礼で挨拶(日本の文化・歴史) 備品(和装小物)の取り扱い方の注意点 着物と腰紐をきれいにたためるようになる 腰紐を結ぶまで				
2回	着物	前回の復習 衿合わせ～伊達締めまで				
3回	半幅帯	半幅帯の結び方を覚える(文庫結び) 自装 他装				
4回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(他装) お太鼓を作るまで				
5回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(他装) 帯揚げ、帯締めの結び方をマスター				
6回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(自装) ひたすら練習				
7回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(自装) ひたすら練習				
8回	総まとめ	自装で着付けをして、お互いを手直し トータルコーディネートをして写真撮影				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル ブライダル科	
科目名	Maitre d'hotel				クラス	Aクラス
担当講師(フルネーム)	HASHIGUCHI JUNJI				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・ホテルF&Bの最高級技能を学ぶ ・清掃に始まり清掃に終わる				授業形態	実技
到達目標	・HRSコンクール出場を目標としたカリキュラム					
使用テキスト	・NON					
成績評価方法	・実技評価100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1er	Description de la classe Facile Trancée.		Pour l'introduction et la façon de gérer l'OE pour être utilisé dans la salle. Hôtel restaurant introduction qui il est un Maitre d'hotel. Le secret de Guéridon., une tranche simple.			
2ème	Trancée. (Peler)		Polissage de couteau. Trancher diverses méthodes. Peler de d'orange, pomme, kiwi, banane, ananas, etc ..(Avec changement ingrédients) Autres organisée.			
3ème	Pour-deux.		Technologie de serveur formelle.pour-deux. Salad Melanger Salad Caesar etc. Autres organisée.			
4ème	Decoupege.		Découpe de viande. Technologie de découpe de la viande et de l'application de. Autres organisée.			
5ème	Avant Desserts Grand Desserts		Avant Desert propos. Glaces et sorbets de techniques de service.Flambe de fruits. Coupe à dessert et pour bomber la technologie. Gateau, chocolat, mousse, crème, etc. Autres organisée.			
6ème	Première flambé.		Flambe wagon, pour les instructions d'utilisation. Fruits(Ananas, pêche blanche,etc.) Autres organisée.			
7ème	Deuxième moment de flamber.		Flambe wagon, pour les instructions d'utilisation. Beurre Suzette créer et Crêpe Suzette. (Crêpe flambé) Autres organisée.			
FIN	Finale maître d'hôtel.		Flambe wagon, pour les instructions d'utilisation. cerises jubile.(Reine Victoria, monta sur le trône fête anniversaire a concédé 50 produits.) Autres organisée.			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	HRS実技セミナー				クラス	A・A3
担当講師(フルネーム)	小西 翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	HRS試験合格のために必要な技術を向上させる。 今年度の課題を読み取り、それに沿った対策を行う。				授業形態	実技
到達目標	国家試験であるレストランサービス技能検定(HRS)3級の実技試験において、受験者全員の合格を目指す。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・実技試験の合否結果50%(合格=50点、不合格=0点) 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 課題の確認		評価方法の説明 課題の確認 ロールプレイ			
2回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
3回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
4回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
5回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
6回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
7回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
8回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			